

つむじ風

税金の使いみち

今、東京では一日当たりのコロナウイルス感染者数が200名を超え、少なくとも三桁を超えている。全国的にも感染者の数が増加傾向にあり、そういう状況の中で、政府は「Go Toキャンペーン」を前倒しで、22日から実施しようとしている。総額一兆七千億円という税金を使ってコロナ対策ではなく、逆にコロナを拡大させようとするかのような政策を実行しようとしている。「アベノマスク」の配布、「全国一律の一斉休校」、「個人給付金の遅れ」、個人事業者への「持続化給付金の遅れ」等々、コロナ対応は変なものや後手後手が目につく。お金に絡むもので一番高額なのがこの「GoToキャンペーン」だ。「個人給付金」や「持続化給付金」の配布に関しては中抜きの問題が大きく取り上げられたが、このキャンペーンでも経費は約千九百億円かかるとのこと。感染症の専門家たちはこぞって「今は移動を制限する時で、これは真逆の政策」と批判をしている。「アベノマスク」の配布の時

海野 順二

コロナ禍のなかで 改憲発議反対署名本格再開！

新型コロナウイルスが再び広がりを見せてきましたが、そんな中でも「敵基地攻撃論」が浮上するなど改憲につながる動きが見られ、油断できない状況が続いています。静岡市憲法9条の会連絡会は、コロナ禍の中で、街頭スタンディングで憲法9条を守ることを訴えてきました。6月29日からは、署名（安倍改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名）活動を本格的に再開しました。6月29日には、8人の参加で22筆、7月9日には、10人の参加で14筆と少しずつではありますが、署名も集まりつつあります。マスクやフェイススタンスを取ることに加



街頭署名活動に登場したフェースシールド

えて、署名を依頼するために、フェース・シールドも使うようになりました。必要な配慮をすれば署名活動は可能です。多くの方の参加を呼びかけます。（編集部）

しずおか平和の風

No.63 2020年7月25日 発行 静岡市 平和委員会 静岡市葵区鷹匠 1-5-8 TEL 253-1854 FAX 252-0785 メール Peace-City @mail.707.to



ホームページ https://shizuoka-shi-heiwa-iinkai.jimdofree.com

コロナ禍に想う—大学と社会 ~佐藤 博明~



いま、コロナ禍でのバイト先の休業・閉店で収入源を失い、親元からの仕送りも不安定になるなどで、困窮を極めている。学費や生活費確保のメドが立たず、5人に1人が休学や退学を考えているという。そうした中で学生たちは、連帯して授業料半減や支援給付金、給費型奨学金の拡大など、政府や大学に支援を求める運動を広げている。

世界のコロナ感染者は1300万人を超え、死者も57万人を超えた。わが国では東京都の感染者はこの一週間で1200人を超え、全国でも2万人余と第2波到来の気配をみせている。収束を見通しがたいコロナの感染拡大で、人々の生活は一変した。大学もその例外ではない。卒業式も入学式も中止され、4月以降も学生は自由にキャンパスに立ち入ることができず、新入生は「大学生になった実感」をもてないまま、連日、リモート・オンライン授業とポータルサイトに送られてくる教材や課題への対応に追われている。そして、多くの学生は

この国を託す将来世代の担い手たちの声に耳を傾け、これに呼応しなければならぬ。同時に、大学教育では、この先のウイズコロナに向けて、従来型の対面・双方向の授業・教育方式に、この間の経験とスキルを活かした、デジタルならではの手法を効果的に融合させ、より進化した教育システムを創り出していくことである。コロナ禍での得がたい経験を活かした、アツプデートされた教育方法の「ニューノーマル」と、多元的な学習方式の「最適化」である。他方、コロナ禍が進む中で、かねてこの社会が抱えていた構造的な歪みや矛盾、格差や貧困があぶり出され、さまざまな災禍や困難が社会的弱者を集中的に襲っている。私たちはいま、こうした事態をもたらしただけで、重大な問いと解決課題の前に立たされている。その場合、こうしたコロナウイルスの発生と蔓延が、単なる「自然現象」ではなく、有史以来の人間活動による大規模で無秩序な自然環境・生態系の破壊によることを知らなければならぬ。人間も自然の一部であり、人間の振舞いがそのまま自然界の変容を引き起こすと考えた時、今日のコロナ禍は、人類が農業や産業革命以来、現代にいたる機械文明と経済システムを通じて地球規模の環境変化をもたらし、「人新生」といわれる時代の忌むべき病理とみることもできる。

よる深刻な経験から、人々が何を学び、今後、これとどう向き合い、生活の立て直しと「新しい日常」をどう創り出していくのかである。テレワークやリモート・ズーム会議など、デジタル化が生活を取り巻く「日常」となる中で、時代の転換につながるパラダイムシフトが起こっている。例えば、経済活動の停滞による温室効果ガスの劇的な減少から、再生可能エネルギーの拡大によるグリーンインフラの整備に向かうことがいまや世界の趨勢となっている。また、地元世論の厳しい批判と、コロナ対策のための巨額な財政支出も相まって、これまで政府が固執してきた「イスラエル配備の撤回」と、これを機に同じく多額の予算と完成までに長い年月を要する沖縄・辺野古基地の建設中止も現実味をおびている。パンデミックは、現代のグローバル経済が作り出した巨大なサプライチェーンを、新型コロナの絶好の拡散装置・ネットワークとしたが、反転してこれを、コロナ克服の多国間連携・協働と新しい世界秩序・社会システムの構築に向けた転換装置としなければならぬ。コロナ禍を奇貨として、これまでの国民不在の政治や経済の歪みと富の偏在から、平和で公正な社会を国民の手に取り戻すことである。ポストコロナ・ウイズコロナの生活と社会を、コロナ以前そのままの「日常」に戻すことは厳に避けなければならない。

※新型コロナの正式名称

被曝75年・2020年原水爆禁止 オンライン世界大会

今年の世界大会は、世界中を襲っているコロナ禍の下、すべての集会はオンラインで行われます。7月15日、世界大会実行委員会は運営委員会を開き2020年世界大会のプログラム、特別集会の報告者などを発表しました。

テーマは「ヒバクシャと共に、核兵器のない平和で公正な世界を人類と地球の未来のために」

1 国際会議

8月2日(日)10時～12時半
開会セッションではサーロー節子さんが訴えます。
大会テーマの討論 ①世界の平和運動代表5人、②アジア・太平洋4人を予定。

2 世界大会「広島デー」

8月6日(木)10時～12時半
中満泉 国連軍縮問題上級代表がゲストスピーカーカーで発言。中野晃一さんなど内外から5名の発言、日本と世界、草の根の運動の交流(8名)などを計画。

3 世界大会「長崎デー」

8月9日(日)10時～12時半
内外から6名の代表が発言。日本と世界、草の根の運動の交流(6名)予定。

4 世界大会 特別集会

I 被爆体験の継承と普及、被爆者援護

8月5日(水)10時～12時

II 沖縄連帯・外国軍事基地撤去

8月4日(火)10時～12時

III ヒバクシャ・枯葉剤被害者との連帯

8月3日(月)15時～17時

IV 非核・平和の北東アジアと運動の役割

8月4日(火)14時～16時

世界中で核兵器なくせの「平和の波」を起そう！

日本政府は核兵器禁止条約に参加を！

静岡からも「ピース・スタンディング」でとき

8月6日(木)8時～8時半

ところ

葵区 セノバ前

駿河区 JR静岡駅南口

(雨天) JR静岡駅地下道

世界大会の成功と、日本原水協支援のための募金を！

世界大会がオンライン大会となったため、世界大会準備の活動の中心となっている日本原水協は運営に困

難をきたしていただきます。核兵器廃絶を願う一人一人の力で支えてゆこうではありませんか。静岡市平和委員会は募金へのご協力を訴えています。

平和の本の紹介

コロナ禍中、新聞の書評欄で紹介されていた『ソ連のコメコン政策と冷戦』（著者は藤巻潤氏）を読みました。ソ連と東欧諸国の体制崩壊の要因、そして、NATOに対抗して結成されたといわれるコメコンの実態に興味があったからです。

非常に面白く、サスペンス、推理小説のように読めました。やはり、ソ連と東欧諸国は世界経済のグローバル化の急激な進展にエネルギー問題、政治体制が対応できず、行き詰まり崩壊せざるを得なかったと読み取れました。ソ連の原油、天然ガスが双方にとって重要な意味であったようです。

コメコンはソ連（スターリン）の主導で結成され、その圧倒的力の下にあったと思っていましたが全く違っていたようです。

日本は敗戦国として戦勝国アメリカの占領を経て日米安保体制を受容させられたが、東欧諸国はソ連に対して敗戦国ではない。この違いによりソ連は解放者として行動・期待され、それが問題解決を複雑、困難にさせた一因であったと思いました。

冷戦の下で「敗北した勝者」ソ連の再建・復興に取り組んだソ連指導部に、ある種の同情心を抱く著者の心情に共感しました。冷戦を有効に活用し勝利したのは西欧資本主義国であった、が結論のようでした。興味のある方、御一読ください。 富田家一郎

私の好きな音楽 (5) ～ 宮 秀雄 ～

ハイドン、シューベルトもボーイソプラノとしてウィーン少年合唱団で歌っていた。しかし変声期後退団。少年時代にボーイソプラノとして歌っていた欧米のプロのオペラ歌手や合唱メンバーは多数。

私が好きな団体は、男性だけで歌う「キングズシンガーズ」「ヒリヤードアンサンブル」、アメリカの「シヤンテクリア」、女声を加えるイギリスの「シックスティーン」等。日本でもルネッサンス時代のアカペラ専門の「カペラ」、イタリア物中心の「ラ・フォンテヴェルデ」が活躍中。ユーチューブ動画でも聴けます。少人数でのアカペラは年末恒例の大合唱団で歌う「第9」とは違う合唱音楽の魅力は是非知ってもらいたい。第9と言えば静岡での初演は駿府会館。1960年代「静岡労音」主催。バスの一員として歌った。ベートーベンにはシラーの「歓喜に寄す」を4楽章に使った。「兄弟たちよ抱き合おう、何百万人の人々よ！この口づけを全世界に！」と。1989年ベルリンの壁崩壊時にバーンスタイン指揮公演では「フロイデ（歓喜）」をフライハイト（自由）と変えて歌われた。貴族制度を倒したフランス革命を経て市民社会への変革期に自由、平等と平和を求めたベートーベンは共和主義者であった。静岡でも年末に公演あり。コロナでどうなるか???



平和の動き 7～8月



- 7月 29日 9の日行動 12:00 青葉前
- 8月 6日(木) 平和の波スタンディング 8:30～セノバ前、JR静岡駅南口
- 9日 9の日行動 12:00 青葉前
- 19日 オールしずおかアクション 17:30 青葉前
- 29日 9の日行動 12:00 青葉前

訂正

平和行進を報じた先月号の署名記事で誤りがありましたので、お詫びし訂正いたします。①静岡県を歩く行進はその名称を、「原水爆禁止2000年静岡県平和行進」と称しています。②全国から預かったペナントを行進集結地のセレモニーに結集するとありましたが、静岡県のペナントは、被災3県として、毎年、広島市、長崎市の市長に交互に届けられています。今年には広島の予定で平和行進県実行委員会代表の静岡県被爆者の会大和会長と県平和委員会磯部事務局次長が届ける予定です。 三輪矩正